

飛鳥資料館 夏期企画展「飛鳥・藤原京を考古科学する」

遺跡の発掘調査や文化財の調査研究、あるいは保存修復をおこなう上で、遺物の材質・構造調査、遺跡の環境調査、動植物遺存体による古環境の復元、木質文化財の年代測定、遺跡の計測・探査等、自然科学的手法を応用した調査研究はたいへん大きな役割を果たします。これらは「考古科学」と呼ばれており、奈良文化財研究所では埋蔵文化財センターが中心となって研究を進めています。

飛鳥・藤原京の調査においても、こうした考古科学の活躍は目覚ましいものがあります。そこで今回は、飛鳥・藤原京を主な舞台に、発掘調査から整理作業、保存・活用まで、さまざまな場面における考古科学の役割と成果を、分かりやすく紹介する展覧会を企画しました。実際に調査で用いた機器類とともに、調査の対象となった考古資料もまじえつつ、奈文研における考古科学の最前線を紹介します。

(飛鳥資料館 丹羽 崇史)



考古科学調査機器類と高松塚古墳版築のはぎ取り

会 期：2013年8月1日(木)～9月1日(日)

開館時間：9:00～16:30(入館は16:00まで、年末年始・月曜休館)

ギャラリートーク：8月4日(日)13:30～ 8月18日(日)13:30～

ホームページ：http://www.nabunken.go.jp/asuka/index.html お問合せ：☎0744-54-3561(飛鳥資料館)

平城宮跡資料館 夏期企画展「平城京どうぶつえん—天平びとのアニマルアート—」

今年の夏、資料館に「平城京どうぶつえん」が期間限定オープンします。

ウマにサル、ヒツジやイノシシ、カメにトリ…そしてニンゲンまでも…！平城宮・京を発掘して、ひょっこりと姿をあらわした動物たちに大集合してもらいます。彼らは、土器や硯、形代や木片など、あちこちにひそんでいます。

今にも動き出しそうな猿の墨画土器、尖ったしっぽが愛らしい土馬、美しい毛並が表現された鳥形の硯など、当時の動物たちの生き生きとした姿を楽しむとともに、天平びとが彼らに注いだまなざしを感じてみてください。

会期中、夏休み期間の金曜日には、子ども向けの楽しい講座やワークショップを開催予定です。是非、お子様連れで、1300年前の動物たちに逢いにきてください。

(企画調整部 中川 あや・渡邊 淳子)



会 期：2013年7月13日(土)～9月23日(月・祝)

開館時間：9:00～16:30(入館は16:00まで、月曜休館・月曜が祝日の時は翌日)

ギャラリートーク：7月26日、8月2・9・16・23・30日(夏休み期間の金曜)14時30分～

ハカセのどうぶつ講座やワークショップ

ホームページ：http://www.nabunken.go.jp/heijo/museum お問合せ：☎0742-30-6753(連携推進課)

■ お知らせ

平城宮跡資料館 夏期企画展

2013年7月13日(土)～9月23日(月・祝)

「平城京どうぶつえん—天平びとのアニマルアート—」

飛鳥資料館 夏期企画展

2013年8月1日(木)～9月1日(日)

「飛鳥・藤原京を考古科学する」

特別公開講演会(東京会場)

2013年9月22日(日)

■ 記 録

文化財担当者研修

○建築遺構調査課程

2013年6月10日～14日 10名

○中近世城郭調査整備課程

2013年6月17日～21日 25名

○建造物保存活用基礎課程

2013年6月24日～28日 16名

現地説明会

○平城第503次発掘調査(平城宮跡東院地区)

2013年3月30日 820名

飛鳥資料館 写真展

2013年3月9日～4月14日

第3回写真コンテスト

「神々の山—大和三山のある風景—」 3,069名

平城宮跡資料館 春期企画展

2013年3月16日～6月2日

「発掘速報展 平城2012」 39,179名

飛鳥資料館 春期特別展

2013年4月26日～6月2日

「飛鳥寺2013」 9,406名

■ 最近の本

○『文化財学の新天地』 吉川弘文館 2013年4月

○『改訂新版 日本古代木簡字典』 八木書店 2013年4月

○『仁和寺史料 古文書編一』 吉川弘文館 2013年5月

編集 「奈文研ニュース」編集委員会

発行 奈良文化財研究所 http://www.nabunken.go.jp/

Eメール jimu@nabunken.go.jp

発行年月 2013年6月